

雑報

おわびと報告 木星によるさそり座ベータ星のえんぺい

4月号のこの欄で5月号に詳しい予報をだすと約束しながら私共の不注意でのせなかったことをおわびします。当日は全国的に天気は悪かったが、紀伊半島白浜にある海上保安庁水路部の下里観測所では光電観測ができたそうです。旭川市立天文台は晴れて、仙台市天文台、東京天文台と岡山天体物理観測所では雲のきれまから眼視観測ができたが、京大附属の飛騨天文台と東京天文台の堂平山観測所では数時間前から曇って何もできなかったということです。 平山智啓・成相恭二

M63=NGC 5055 に明るい超新星出現

アメリカの Northwestern 大学 Corralitos 天文台の G. Jolly は 1971 年 5 月 24.2965 日 (U.T.) に、銀河系外星雲 M63=NGC 5055 に写真眼視等級 11.8 等の超新星を発見した。この星雲は赤径  $13^{\text{h}}13^{\text{m}}5$ 、赤緯  $+42^{\circ}17'$  (1950.00) にあり視直径  $8'0 \times 4'0$  の Sb 型で、星雲の全光度は写真等級 10.5 等、眼視等級 9.5 等である。超新星はこの星雲の核より西に  $2''$ 、南へ  $147''$  の、星雲の腕の部分に出現した。東京天文台でも岡山天体物理観測所の 188 cm 鏡にて 25.57386 日 (U.T.) に  $3600 \sim 7000 \text{ \AA}$  の波長域のスペクトルを撮影した。

これによると未同定のエミッションバンドを持ったスペクトルで、シャープな線や、水素、ヘリウムの線と同

定できるものはなかった。このことから極大期頃のタイプ I の超新星であると考えられる。さらに岡山観測所と堂平観測所の 91 cm 鏡で光電管による U, B, V の 3 色測光が同じ夜に行なわれ、 $V=12.09 \pm 0.01$  等、 $B-V=+0.16 \pm 0.02$  等、 $U-B=+0.00 \pm 0.0$  等であった。その後 AAVSO の Mayall 女史によると、5 月 30 日に Mayer により独立に発見されたそうである。(香西洋樹)

天文学将来計画の修正について

天文学将来計画は、これまで天文学研究連絡委員会により 1965 年 7 月とりまとめがなされ、さらに 1968 年 8 月に修正され、その報告は、それぞれ第 6 期および第 7 期の日本学術会議長期研究計画委員会報告に公表されております。しかし、その後計画の一部に具体化の進展があり、また天文学各分野での急速な発展に応じた種々の切実な要求が高まってきたので、再び計画の修正が必要となってきました。今度の修正のポイントは大型光学望遠鏡、位置天文学および研究体制などであると思われま

す。修正計画は本年度内に長期研究計画委員会報告に公表の予定でおります。つきまして、将来計画の具体案または意見をお待ちの方は、それらを 8 月末までに私宛にお寄せ下さるようお願いいたします。

1971 年 6 月 10 日 天文学将来計画小委員会

委員長 海野和三郎

(〒113 東京都文京区、東京大学理学部天文学教室内)

1971 年 5 月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	5,	17	6	—,	—	11	6,	66	16	—,	—	21	5,	14	26	1,	20
2	—,	—	7	4,	51	12	6,	69	17	8,	54	22	3,	12	27	—,	—
3	7,	26	8	—,	—	13	8,	66	18	—,	—	23	—,	—	28	4,	57
4	—,	—	9	4,	65	14	7,	59	19	—,	—	24	—,	—	29	—,	—
5	4,	62	10	5,	80	15	8,	65	20	4,	26	25	2,	17	30	—,	—
(相対数月平均値: 69.4)															31	6,	36

昭和 46 年 6 月 20 日 印刷発行 定価 175 円  
 編集兼発行人 印刷所 発行所  
 〒181 東京都三鷹市東京天文台内  
 〒112 東京都文京区水道 2-7-5  
 〒181 東京都三鷹市東京天文台内  
 電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359  
 森本雅樹 啓文堂 日本天文学会  
 社団法人 日本天文学会  
 振替口座東京 13595